

日光山輪王寺

徳川三代將軍家光公廟

常行堂・大猷院 特別参拝企画

(じょうぎようどう)

(たいゆういん)

期間：2018年4月4日～2019年3月31日

但し、4/18～20、5/17、7/14・15、8/8・13～16、1/1～3、2/3は除きます。

また、日光山輪王寺の行事等により参拝時間の調整をお願いする場合がありますので予めご了承下さい。

※記念品：常行堂御守進呈

料金：大人 お一人様 **1,250円**
小中校 950円

参拝の方法と時間

- ①集合場所：常行堂
- ②開始時間 (※時間厳守)
午前の部：11:00
午後の部：14:00 / 16:00(4月～10月)
- ③参拝証を常行堂受付に提示して下さい。
※常行堂の案内と説明を致します。
※記念品をお渡し致します。
- ④常行堂参拝後は大猷院参拝となりますので参拝証を大猷院受付にお渡し下さい。

常行堂・大猷院略図



日光山輪王寺 常行堂 “心と身体を清める”

常行堂の御本尊は、宝冠五智阿弥陀如来です。平安時代末期の仏像で、国の重要文化財に指定されています。宝冠を頂き、クジャクに乗ったお姿です。法・利・因・語の四菩薩を周囲に配し、それぞれもまたクジャクに乗ったお姿です。このような形でおまつりされているのは、大変珍しく、全国でも唯一と言われています



2017年4月8日修復完了

本尊



摩多羅神

【摩多羅神】

阿弥陀如来、およびその念仏の守護神で、慈覚大師円仁によって、平安時代に唐から伝えられました。常行堂の後戸の神とされています。後戸の神とは、お堂の背後の入口に構える神のことで、この入口が本尊の真後ろにあることから、後戸から入った悪いものから、本尊を守るための護法神と言われています。

進呈



常行堂御守



徳川三代將軍家光公廟 大猷院 “家康公への尊崇、今もなお…”



金閣殿

大猷院の中心となる建物で、拝殿・相の間・本殿と連なる独特な建造物の構造を【権現造り(ごんげんづくり)】と言います。この建物は国宝に指定されており、たくさんの金彩が使われているので、別名【金閣殿(きんかくでん)】と呼ばれています。内部には、狩野探幽(かのうたんゆう)の描いた唐獅子、天井には140枚の龍の絵、家光公が着用した鎧などをご覧いただけます。

家光公が着用した鎧
同時公開



重さが約52キロあります。祖父である家康公からの賜り物です。

御朱印 (別料金)

| 常行堂 阿弥陀如来 | 大猷院金閣殿 | 大猷院 |
|--------------|--------|--------|
| | | |
| (300円) | (500円) | (300円) |

お申込みは

お問い合わせ「日光おでかけサロン」まで TEL.0288-54-2700